



2019年3月期 第3四半期決算報告

2019年2月7日

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください
- 本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨ててあります

1. 2019年3月期第3四半期決算報告

2. 2019年3月期通期見通し

Q3 実績

売上 収益

- 前年同期比 **63億円の減収** (▲3%)
- 映像事業はデジタルカメラの販売台数減少により減収
- 精機事業は主にFPD露光装置の台数増により大幅増収

営業 利益

- 前年同期比 **35億円の増益** (+19%)
- 精機事業の利益が倍増し、映像事業の減益を上回る

当期 利益

- 前年同期比 **95億円の増益** (+113%)

Q1-3 実績

売上 収益

- 前年同期比 **10億円の増収** (+0.2%)
- 映像事業の減収を、精機事業等他事業の増収でカバー

営業 利益

- 前年同期比 **111億円増益** (+27%)
- 精機事業の増益が映像事業の減益を大幅に上回る

当期 利益

- 前年同期比 **184億円の増益** (+83%)

2019年3月期 Q3：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期 Q3実績	19年3月期 Q3実績	前年 実績比
売上収益	1,968	1,905	▲63
営業利益	184	219	+35
売上収益比	9.3%	11.5%	
税引前利益	189	232	+43
売上収益比	9.6%	12.2%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	84	179	+95
売上収益比	4.3%	9.4%	
FCF	622	169	▲453
			売上収益への影響
為替：USドル	113円	113円	▲27
ユーロ	133円	129円	営業利益への影響
			▲14

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除

2019年3月期 Q3：セグメント別業績



単位：億円

		18年3月期 Q3実績	19年3月期 Q3実績	前年 実績比
映像事業	売上収益	1,160	905	▲22%
	営業利益	162 (216)	86 (86)	▲76億円
精機事業	売上収益	481	647	+35%
	営業利益	84 (84)	174 (174)	+90億円
ヘルスケア事業	売上収益	140	163	+16%
	営業利益	▲10 (▲10)	▲2 (▲2)	+8億円
産業機器・その他	売上収益	188	190	+1%
	営業利益	16 (21)	21 (21)	+5億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲68 (▲68)	▲60 (▲60)	+8億円
連結	売上収益	1,968	1,905	▲3%
	営業利益	184 (243)	219 (220)	+35億円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

2019年3月期 Q1-Q3：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期 Q1-3実績	19年3月期 Q1-3実績	前年 実績比
売上収益	5,252	5,262	+10
営業利益	414	525	+111
売上収益比	7.9%	10.0%	
税引前利益	403	570	+167
売上収益比	7.7%	10.8%	
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	223	407	+184
売上収益比	4.2%	7.7%	
FCF	692	481	▲211
			売上収益への影響
為替：USドル	112円	111円	▲24
ユーロ	129円	129円	営業利益への影響
			▲24

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除

2019年3月期 Q1-Q3：セグメント別業績



単位：億円

		18年3月期 Q1-3実績	19年3月期 Q1-3実績	前年 実績比
映像事業	売上収益	2,912	2,414	▲17%
	営業利益	316 (370)	218 (222)	▲98億円
精機事業	売上収益	1,461	1,863	+28%
	営業利益	285 (285)	472 (472)	+187億円
ヘルスケア事業	売上収益	392	457	+17%
	営業利益	▲31 (▲31)	▲25 (▲25)	+6億円
産業機器・その他	売上収益	486	527	+8%
	営業利益	31 (36)	48 (56)	+17億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-
	営業利益	▲187 (▲187)	▲188 (▲188)	▲1億円
連結	売上収益	5,252	5,262	+0.2%
	営業利益	414 (473)	525 (538)	+111億円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

	18年3月期		19年3月期		前年実績比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	1,160	2,912	905	2,414	▲255	▲498
営業利益	162	316	86	218	▲76	▲98
売上収益比	14.0%	10.9%	9.5%	9.0%		
レンズ交換式 デジタルカメラ	85万台	216万台	64万台	171万台	▲21万台	▲45万台
交換レンズ	130万本	332万本	102万本	267万本	▲28万本	▲65万本
コンパクト デジタルカメラ	72万台	211万台	45万台	130万台	▲27万台	▲81万台

- **Q3前年比**：ML新製品効果で高級機の販売は好調に推移したが、一眼レフ初級・中級機の市場縮小と競争激化による台数減の影響が大きく、初期費用負担も重なり、減収減益

	18年3月期		19年3月期		前年実績比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	481	1,461	647	1,863	+166	+402
営業利益	84	285	174	472	+90	+187
売上収益比	17.5%	19.5%	26.9%	25.3%		
FPD露光装置	14台	48台	18台	54台	+4台	+6台
半導体露光装置 新品／中古	3/3台	10/7台	4/2台	12/11台	+1/▲1台	+2/+4台

- **Q3前年比**：FPD装置事業はG10.5露光装置等計画通り販売台数が増え、大幅な増収増益。半導体装置事業はArF液浸露光装置の販売による製品ミックス変化で収益改善

単位：億円	18年3月期		19年3月期		前年実績比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	140	392	163	457	+23	+65
営業利益	▲10	▲31	▲2	▲25	+8	+6
売上収益比	▲7.1%	▲7.9%	▲1.2%	▲5.5%		

- **Q3前年比**：生物顕微鏡・網膜画像診断機器ともに海外市場中心に販売が好調に推移したが、将来に向けた投資を計画通り実施した為、赤字が継続

単位：億円	18年3月期		19年3月期		前年実績比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	188	486	190	527	+2	+41
営業利益	16	31	21	48	+5	+17
売上収益比	8.5%	6.4%	11.1%	9.1%		

- Q3前年比**：産業機器は画像測定システムやX線検査装置中心に計画通り
 その他事業は大型フォトマスクサブストレート等が堅調に推移し、セグメント全体
 で増益

1. 2019年3月期第3四半期決算報告

2. 2019年3月期通期見通し

売上
収益

● **全社見通しを200億円下方修正**

- Q3実績とQ4販売計画見直しを踏まえ、映像事業の見通しを150億円下方修正
- 半導体露光装置の一部が、顧客都合で来期にシフトする為精機事業の見通しを50億円下方修正

営業
利益

● **全社見通しを60億円上方修正**

- 映像事業の見通しを60億円下方修正
- 精機事業の見通しは特許訴訟の和解金約190億円と関連費用、半導体露光装置の一部売上遅延を反映し、110億円上方修正
- 各セグメントに配賦されない全社損益が10億円改善

当期
利益

● **全社見通しを60億円上方修正**

- 特許訴訟和解を除けば、前回予想比減益

年間
配当金

● **60円の前回見通しを据え置く（中間30円、期末30円）**

- 前期36円から24円増配

2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期 実績	前回予想 (Q2時点)	今回予想 (Q3時点)	前年 実績比	前回 予想比
売上収益	7,170	7,400	7,200	+30	▲200
営業利益	562	740	800	+238	+60
売上収益比	7.8%	10.0%	11.1%		
税引前利益	562	760	830	+268	+70
売上収益比	7.8%	10.3%	11.5%		
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	347	530	590	+243	+60
売上収益比	4.8%	7.2%	8.2%		
FCF	902	600	600	▲302	±0
為替：USドル	111円	108円	110円	売上収益への予想影響額 約▲59 約+18	
ユーロ	130円	130円	128円	営業利益への予想影響額 約▲32 約▲14	

訴訟和解金約190億円と関連費用を計上する一方、映像事業等を下方修正

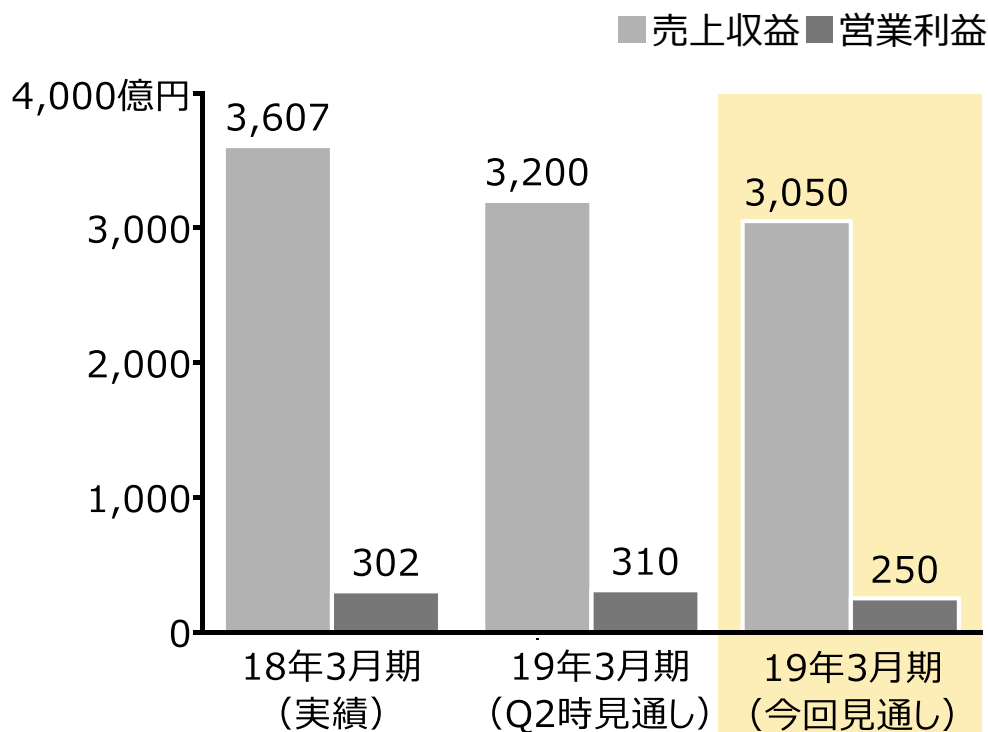
注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約80億円の控除後の金額
訴訟和解金約190億円は、オランダASML Holding N.V.およびドイツCarl Zeiss SMT GmbHからの総額150百万ユーロの支払いを1ユーロ125円で換算

2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		18年3月期 実績	前回予想 (Q2時点)	今回予想 (Q3時点)	前年 実績比	前回 予想比
映像事業	売上収益	3,607	3,200	3,050	▲15.4%	▲4.7%
	営業利益	302 (360)	310 (320)	250 (260)	▲52億円	▲60億円
精機事業	売上収益	2,263	2,820	2,770	+22.4%	▲1.8%
	営業利益	533 (533)	680 (680)	790 (790)	+257億円	+110億円
ヘルスケア事業	売上収益	568	630	630	+10.9%	±0%
	営業利益	▲32 (▲32)	▲30 (▲30)	▲30 (▲30)	+2億円	±0億円
産業機器・その他	売上収益	732	750	750	+2.5%	±0%
	営業利益	50 (78)	60 (70)	60 (70)	+10億円	±0億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-	-	-
	営業利益	▲291 (▲291)	▲280 (▲280)	▲270 (▲270)	+21億円	+10億円
連結	売上収益	7,170	7,400	7,200	+0.4%	▲2.7%
	営業利益	562 (649)	740 (760)	800 (820)	+238億円	+60億円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約80億円の控除後の金額
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値



レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	1,141	980	1,000
ニコン	262	225	210

交換レンズ (万本)

市場規模	1,906	1,630	1,680
ニコン	401	335	320

コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	1,196	800	800
ニコン	251	170	160

● 売上収益：150億円下方修正 557億円減収

- フルサイズミラーレスカメラ等の新製品投入で平均単価は上昇
- 初級機の価格競争激化をはじめ、厳しい市場環境を踏まえて各製品カテゴリーの販売台数を見直し、前回予想比150億円下方修正

● 営業利益：60億円下方修正 52億円減益

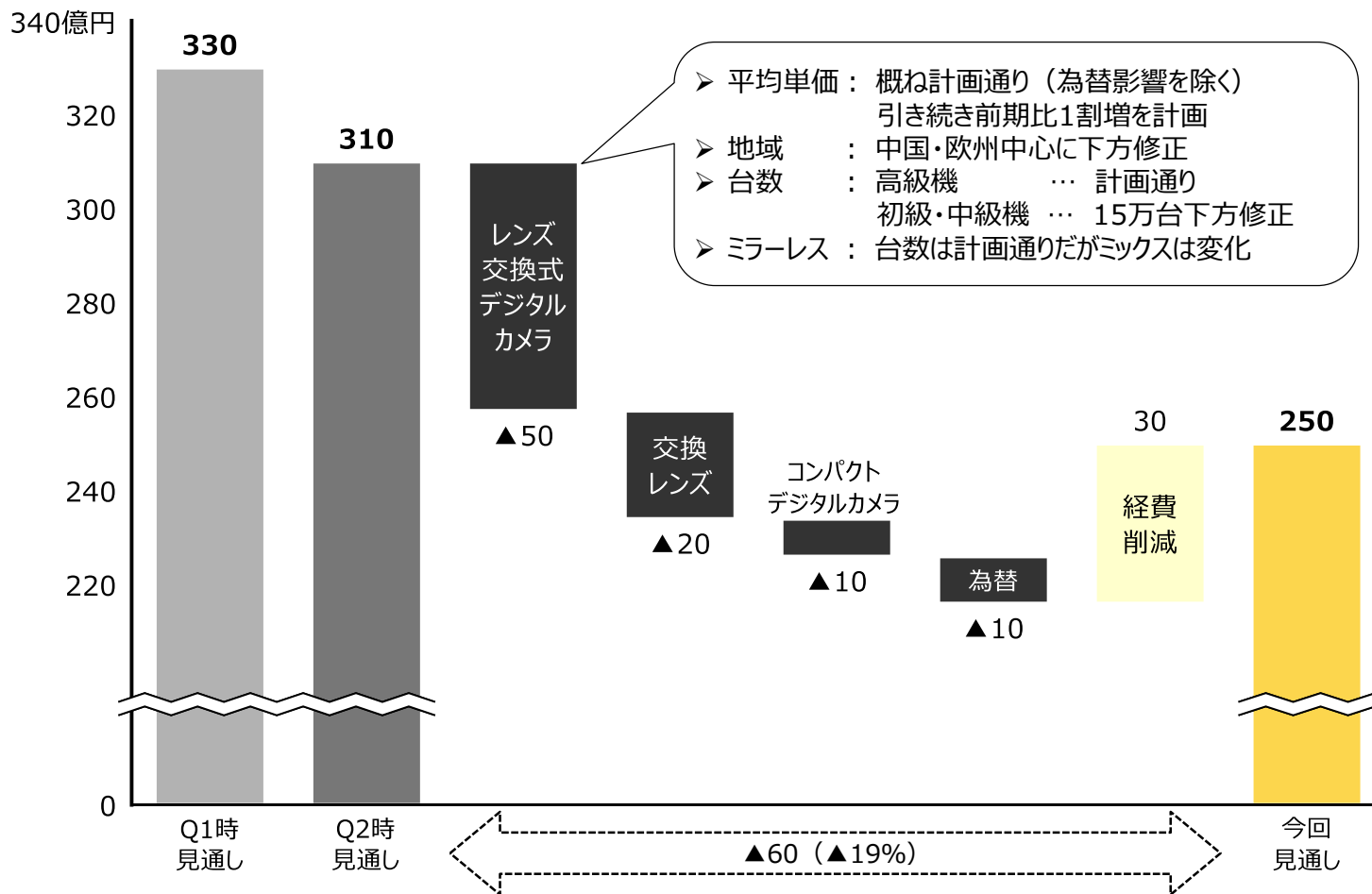
- 2018年3月期/2019年3月期 営業利益は、それぞれ360億円/260億円 (構造改革関連費用控除前)
- 台数減による減収や為替のマイナス影響が経費削減を上回り、前回予想比60億円下方修正

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約80億円の控除後の金額

2019年3月期 通期見通し：映像事業 利益変化要因

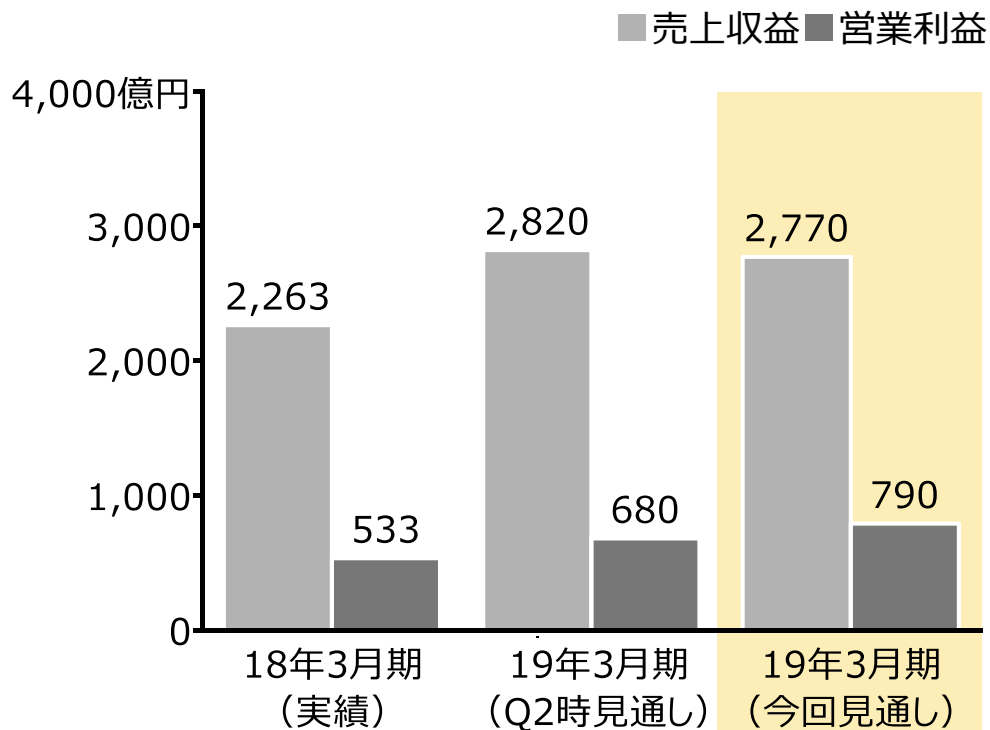


営業利益



前期比増益から一転して減益見通しへ下方修正（前期302億円）

注：各変化要因は1桁目の値を四捨五入して表示



FPD露光装置販売台数 (台)

	18年3月期 (実績)	19年3月期 (Q2時見通し)	19年3月期 (今回見通し)
市場規模 (CY17/18)	149	150	142
ニコン	67	70	70

半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

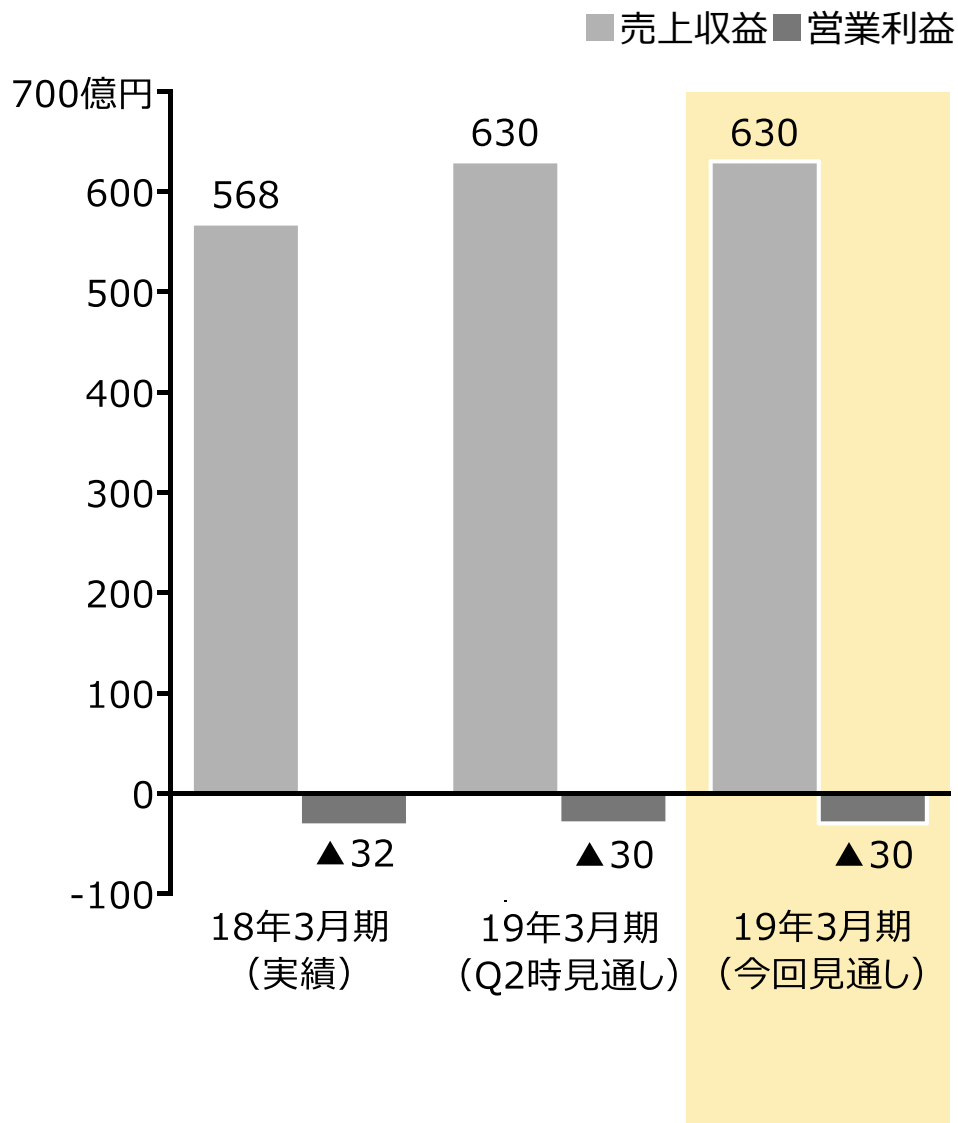
	18年3月期 (実績)	19年3月期 (Q2時見通し)	19年3月期 (今回見通し)
市場規模 (CY17/18)	240	260	300
ニコン	17/13	23/12	21/11

● 売上収益：50億円下方修正 507億円増収

- FPD：中小型パネル向け装置減少を大型パネル向け装置増加が上回る計画に変更なし
- 半導体：主要顧客の設備投資は堅調だが、一部の装置販売が顧客都合で来期にシフトする為、前回予想比50億円下方修正

● 営業利益：110億円上方修正 257億円増益

- FPD：前年比大幅増収増益
- 半導体：2期連続黒字化で黒字体質が定着
- 期ずれによる減益影響や特許訴訟の和解金等を織り込み、前回予想比110億円上振れ

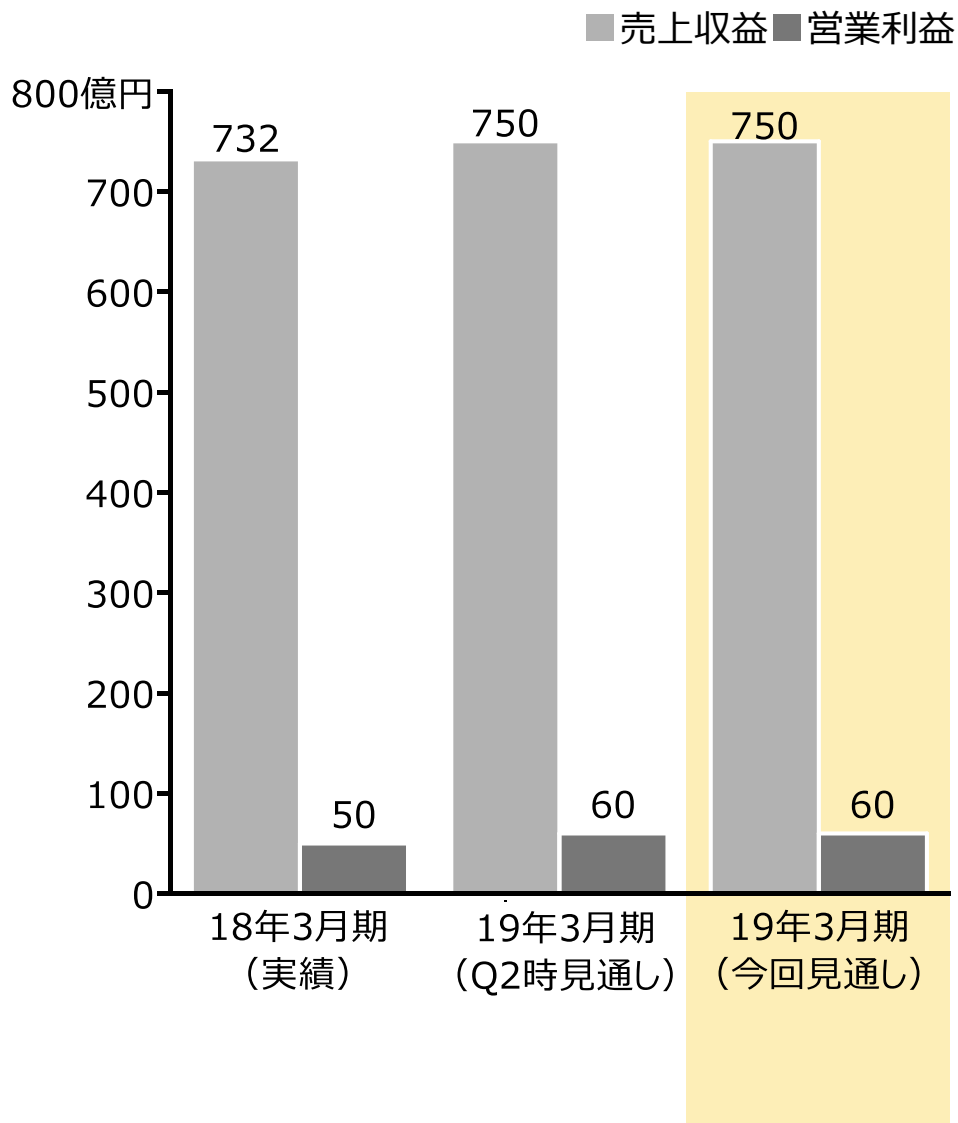


● 売上収益：前回予想据え置き 62億円増収

- バイオサイエンス分野：北米・中国等、海外中心に増収を見込む
- 眼科診断分野：網膜画像診断機器市場は堅調に推移。新製品投入も寄与し、増収を見込む

● 営業利益：前回予想据え置き

- 将来のビジネス拡大と利益成長に向けた開発投資を強化しているが増収効果で補い赤字は前年並み



● 売上収益：前回予想据え置き 18億円増収

- 産業機器は前期CMM事業譲渡に伴う減収を画像測定システムやX線検査装置等の販売拡大でカバー

● 営業利益：前回予想据え置き 10億円増益

- 産業機器・その他全体の2018年3月期/2019年3月期 営業利益はそれぞれ78億円/70億円 (構造改革関連費用控除前)
- 産業機器の一部製品撤退等に伴う構造改革関連費用は通期10億円



NIKON CORPORATION

參考資料

2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期	18年3月期			19年3月期見通し		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	7,492	3,284	3,886	7,170	3,357	3,843	7,200
営業利益	7	230	332	562	306	494	800
売上収益比	0.1%	7.0%	8.5%	7.8%	9.1%	12.9%	11.1%
税引前利益	30	214	348	562	338	492	830
売上収益比	0.4%	6.5%	9.0%	7.8%	10.1%	12.8%	11.5%
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	39	139	208	347	228	362	590
売上収益比	0.5%	4.2%	5.4%	4.8%	6.8%	9.4%	8.2%
FCF	566	902			600		
為替：USドル	108円	111円	111円	111円	110円	109円	110円
ユーロ	119円	126円	133円	130円	130円	127円	128円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約80億円の控除後の金額

2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績

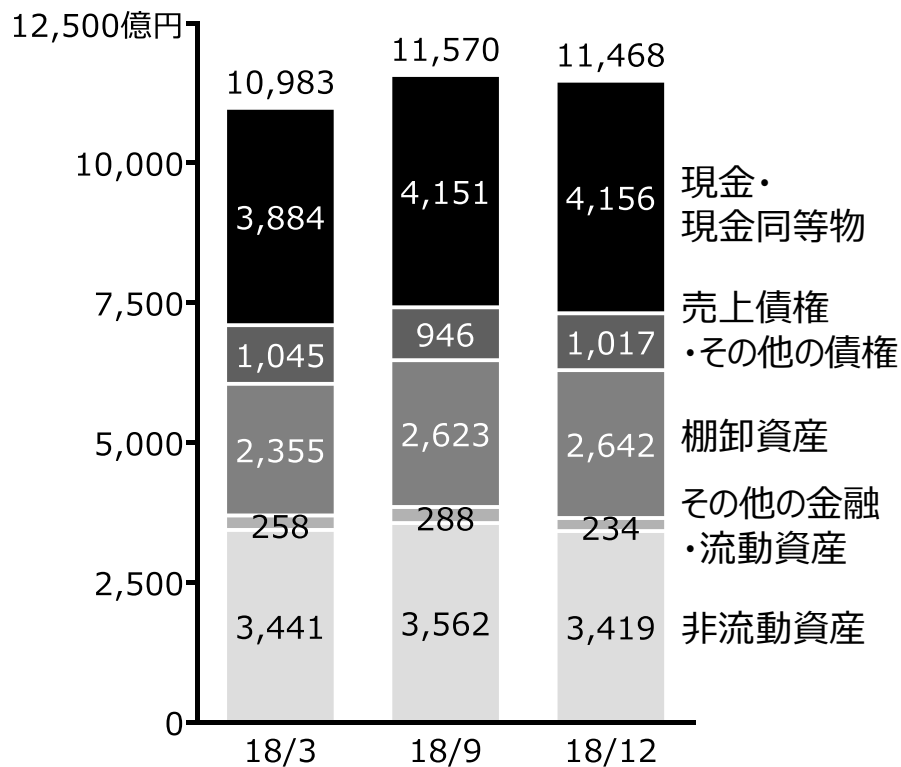


単位：億円

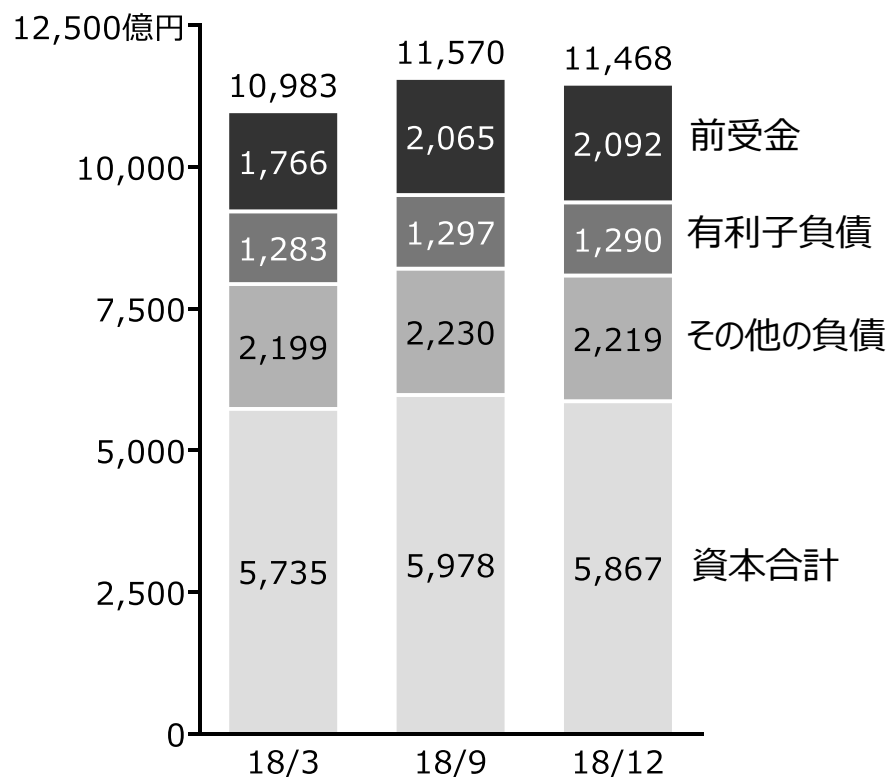
		17年	18年3月期			19年3月期見通し		
		3月期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	3,830	1,752	1,855	3,607	1,509	1,541	3,050
	営業利益	171 (281)	154 (154)	148 (206)	302 (360)	132 (136)	118 (124)	250 (260)
精機事業	売上収益	2,480	980	1,283	2,263	1,216	1,554	2,770
	営業利益	134 (481)	201 (201)	332 (332)	533 (533)	298 (298)	492 (492)	790 (790)
ヘルスケア事業	売上収益	557	252	316	568	294	336	630
	営業利益	▲6 (▲1)	▲21 (▲21)	▲11 (▲11)	▲32 (▲32)	▲23 (▲23)	▲7 (▲7)	▲30 (▲30)
産業機器・その他	売上収益	624	298	434	732	337	413	750
	営業利益	37 (55)	15 (15)	35 (63)	50 (78)	27 (35)	33 (35)	60 (70)
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲328 (▲275)	▲119 (▲119)	▲172 (▲172)	▲291 (▲291)	▲128 (▲128)	▲142 (▲142)	▲270 (▲270)
連結	売上収益	7,492	3,284	3,886	7,170	3,357	3,843	7,200
	営業利益	7 (541)	230 (230)	332 (419)	562 (649)	306 (318)	494 (502)	800 (820)

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約80億円の控除後の金額
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

資産



負債・資本

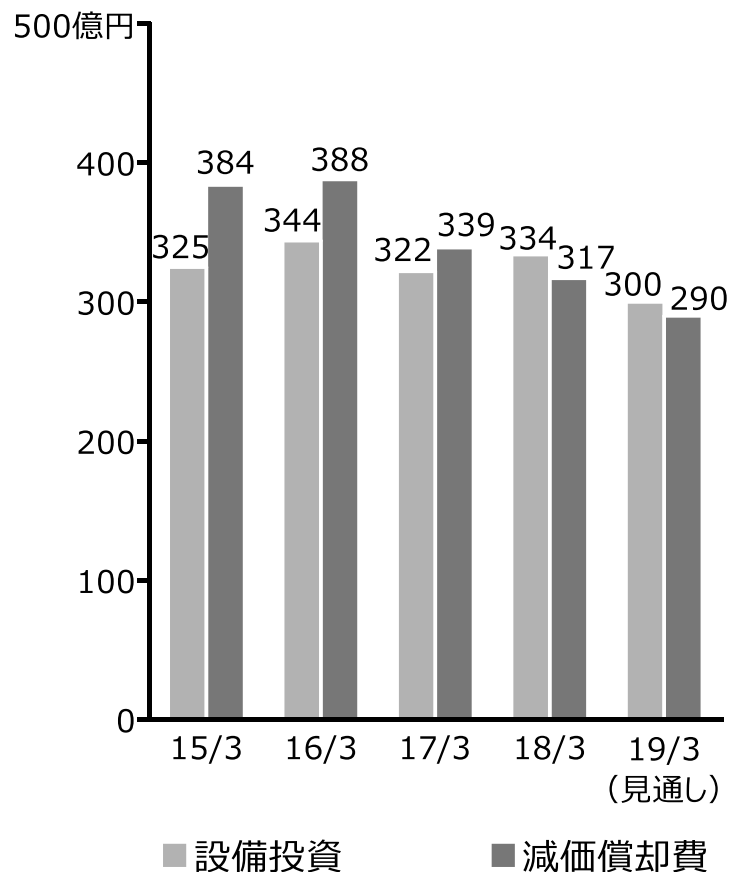


自己資本比率 52.2% 51.6% 51.1%

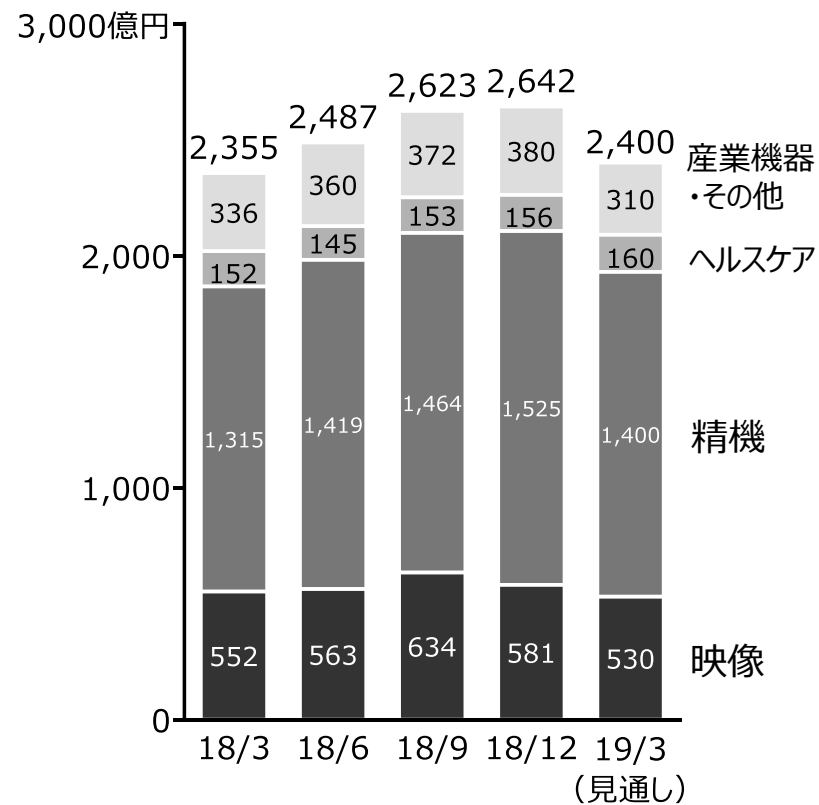
注：18年12月末の有利子負債の内訳は社債で299億円、その他の借入金等で991億円

自己資本比率 = 親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

設備投資・減価償却費



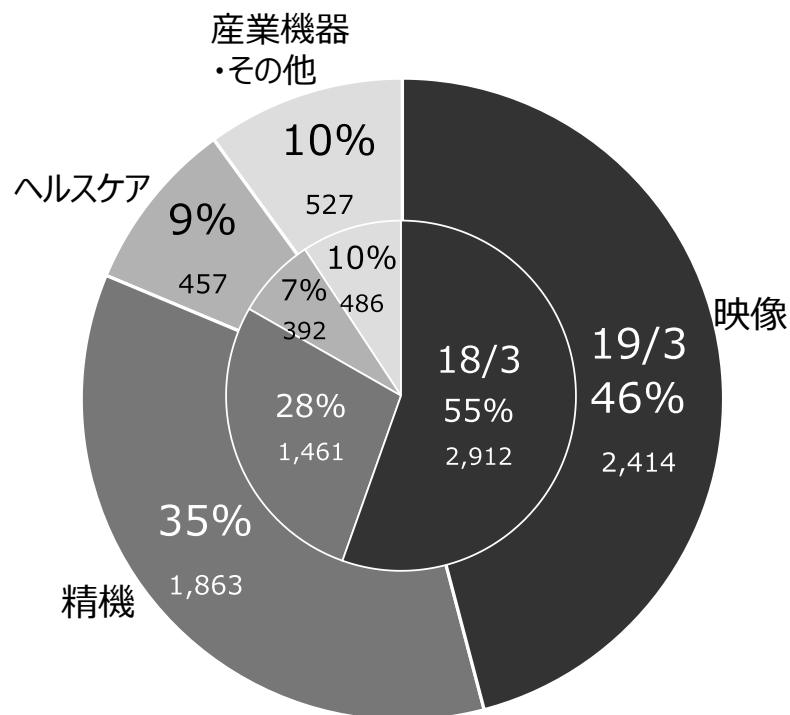
棚卸資産



注：2015年3月期は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準（IFRS）で表示
「減価償却費」の2018年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示

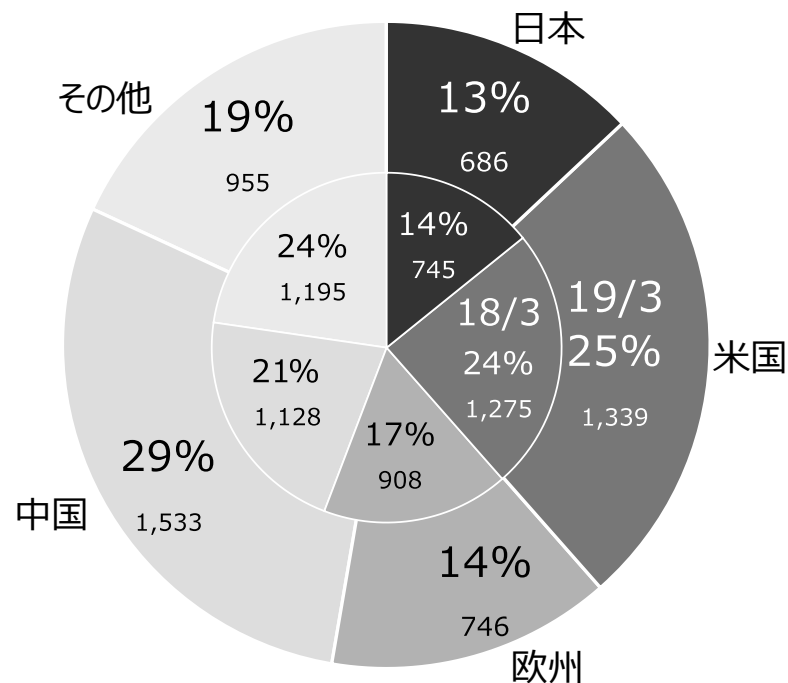
セグメント別内訳

単位：億円



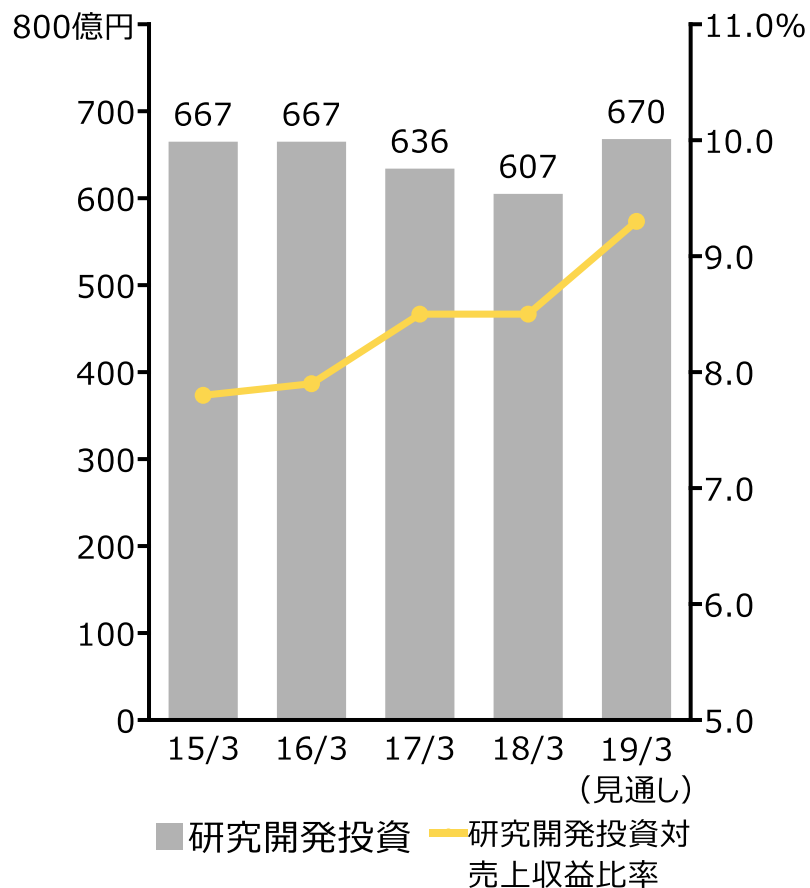
地域別内訳

単位：億円



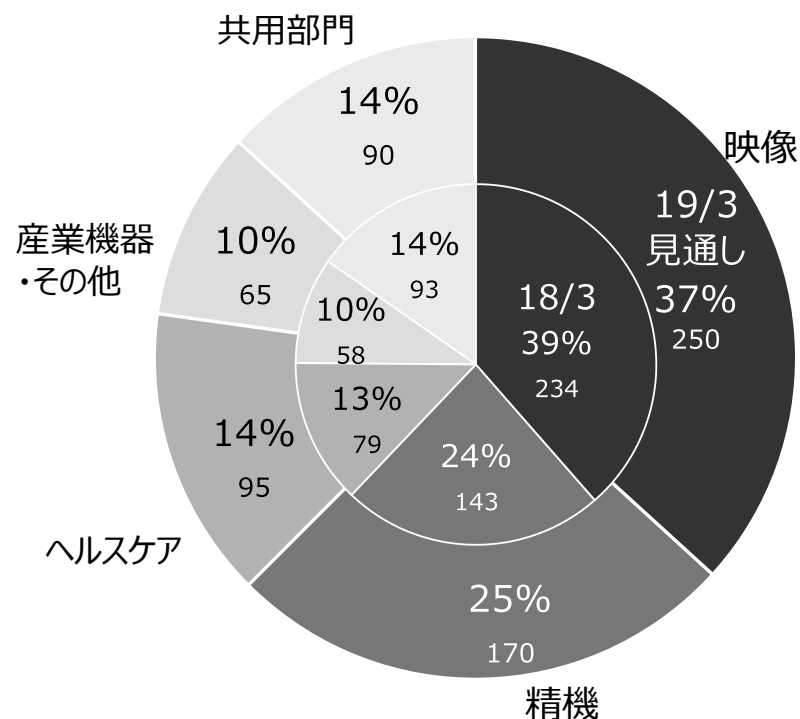
注： 外円は「2019年3月期売上収益3Q累計額5,262億円」の内訳、内円は「2018年3月期売上収益3Q累計額5,252億円」の内訳を表示

研究開発投資



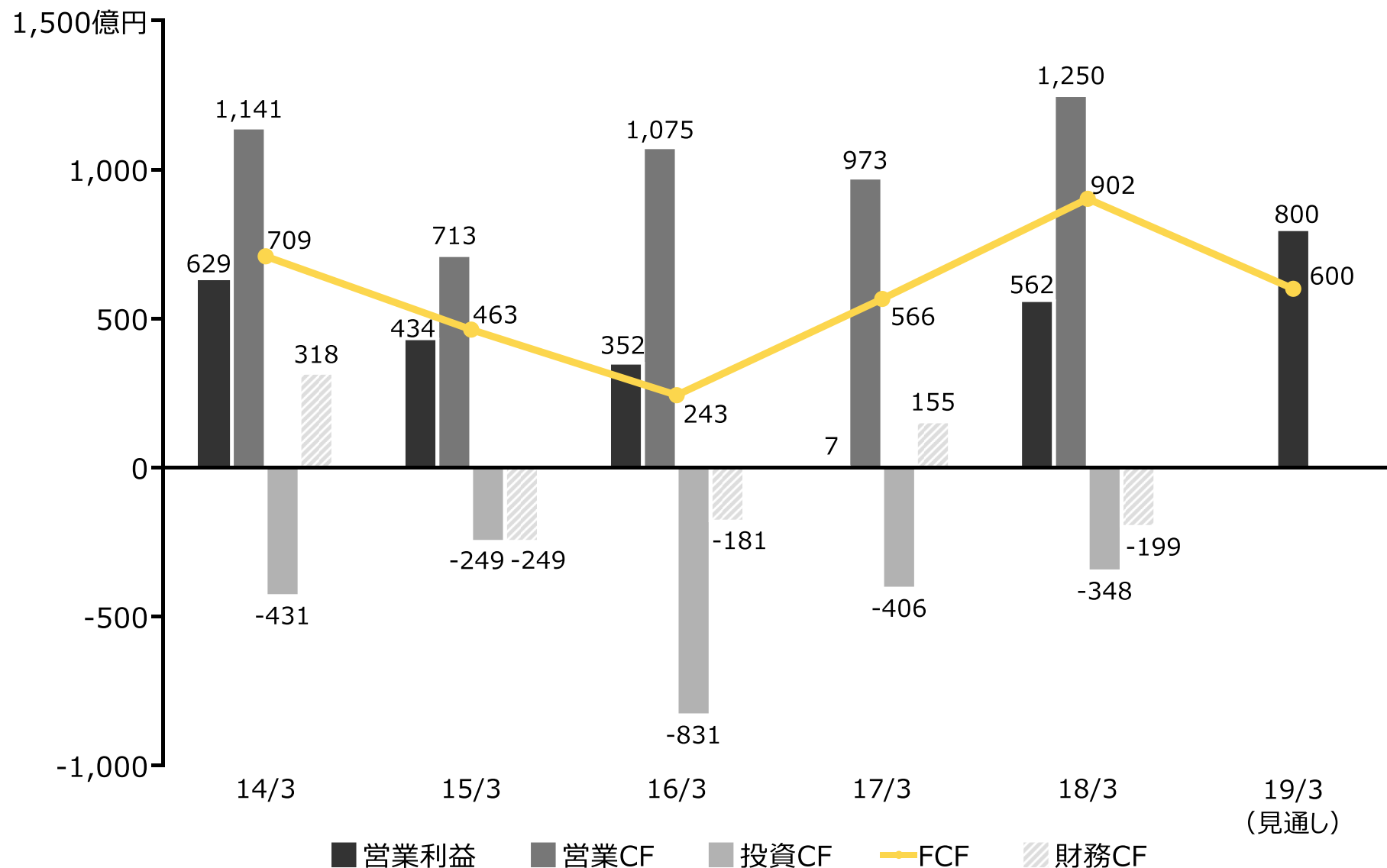
研究開発投資内訳

単位：億円



注：「研究開発投資」には、2018年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示。前期セグメント変更を踏まえて、内訳は2期分のみ表示

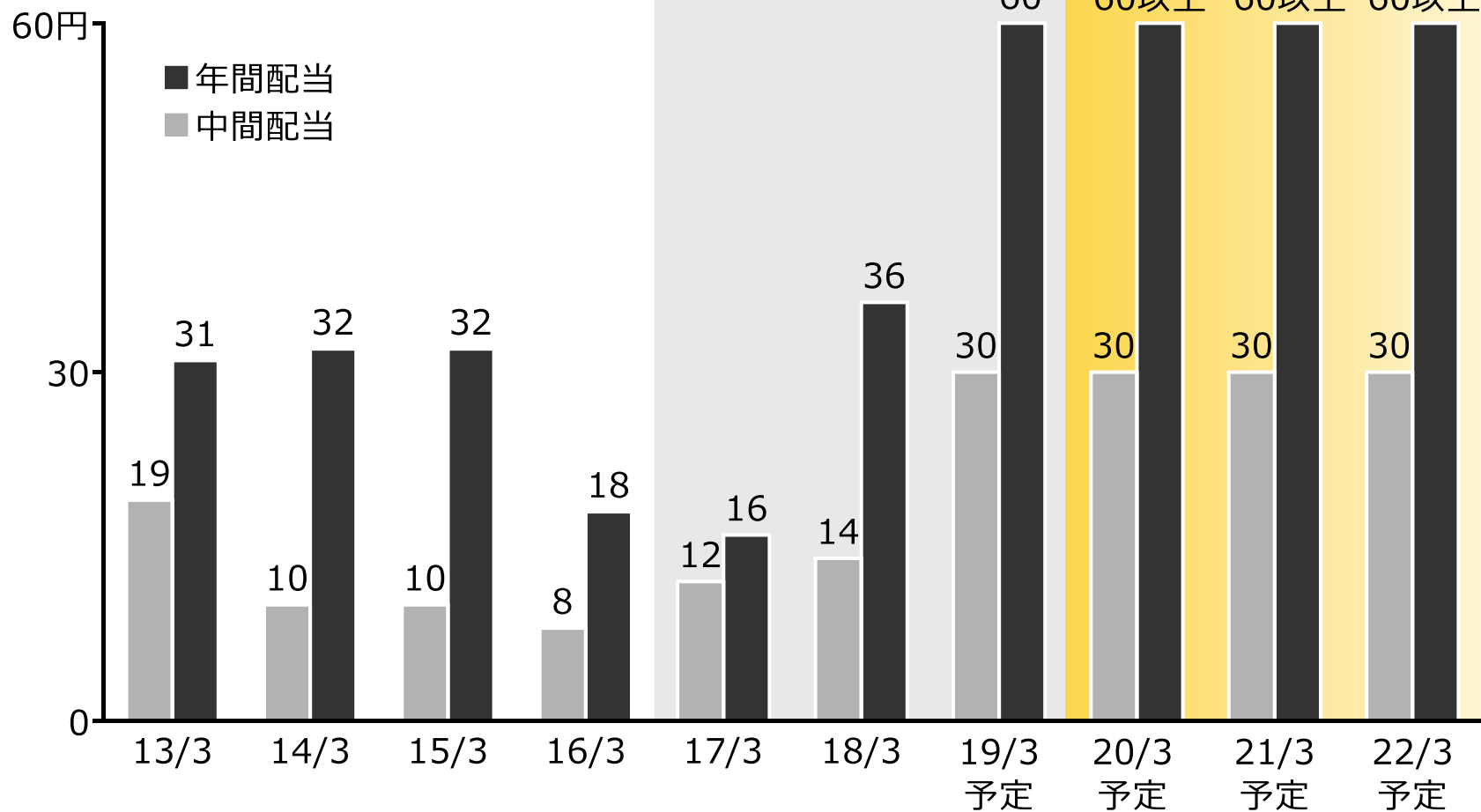
キャッシュフロー推移



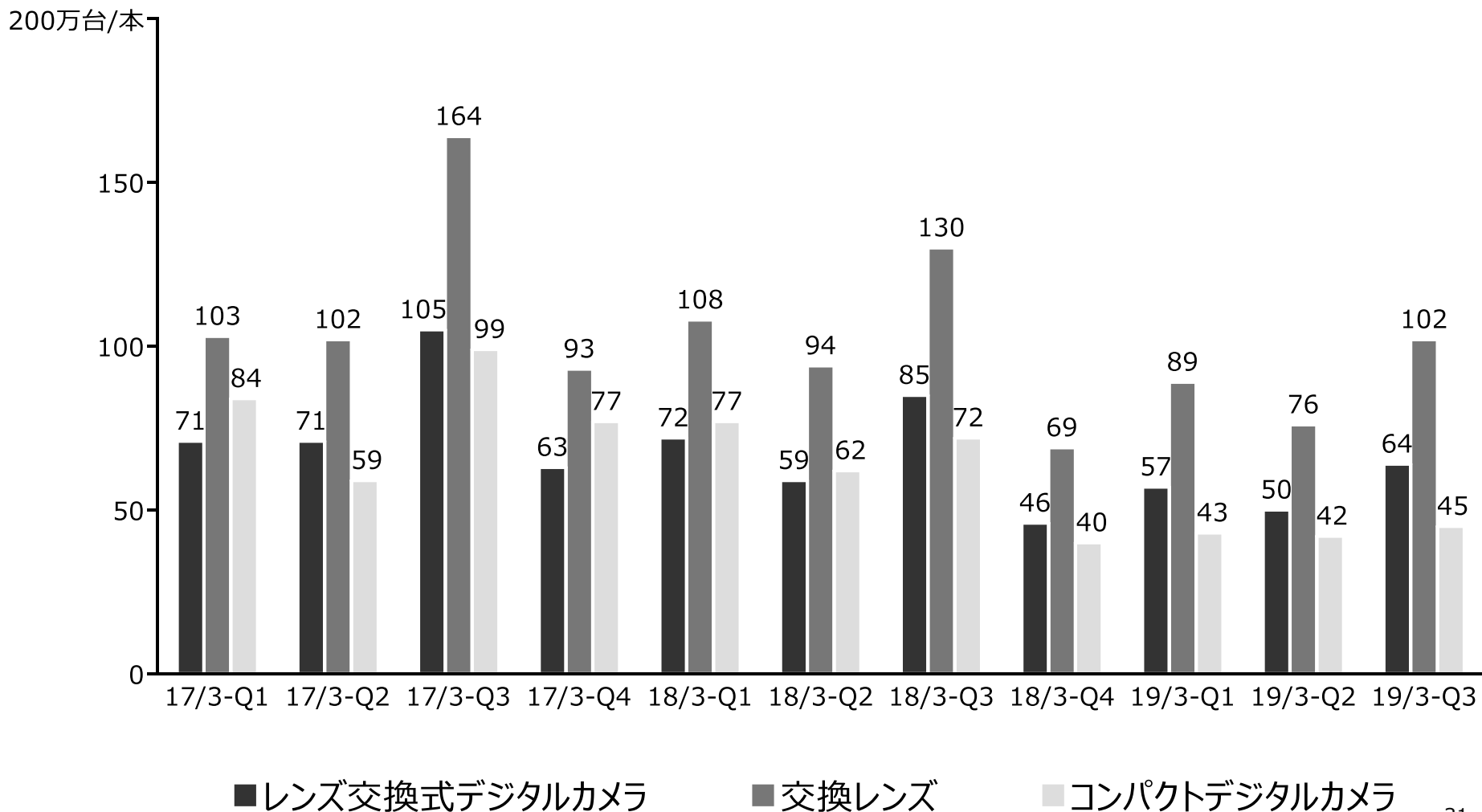
注: FCF (フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF、2015年3月期以前は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準 (IFRS) で表示
 FCF + 財務CF + 現金・現金同等物に係る換算差額 = 現金・現預金同等物期末残高増減

構造改革期間

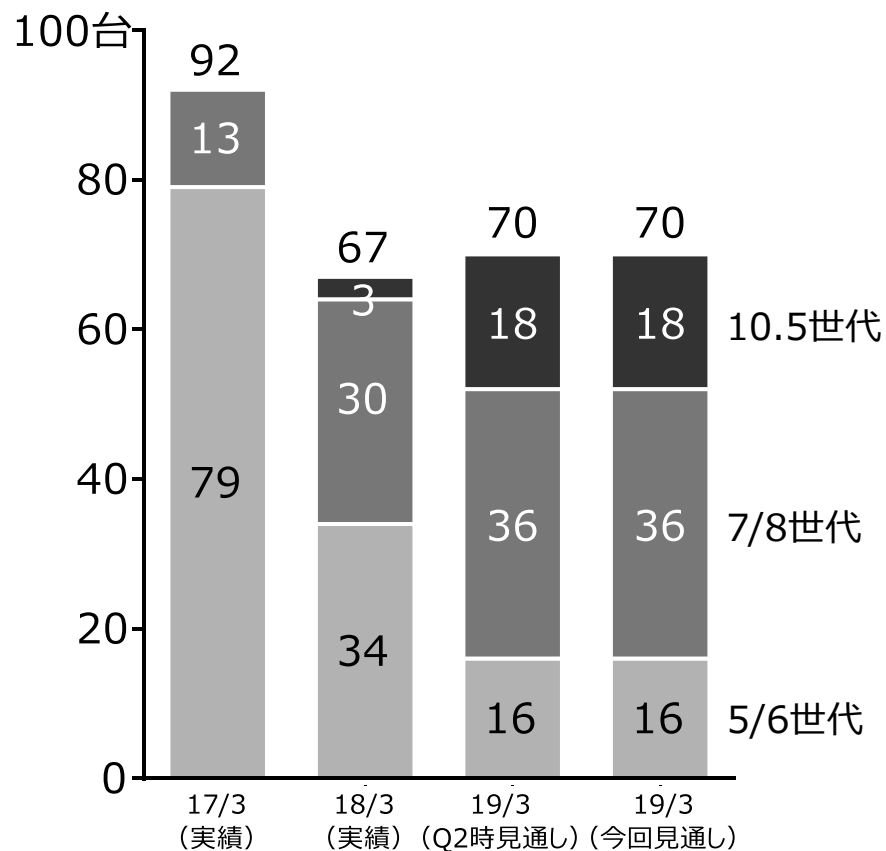
次期中計期間



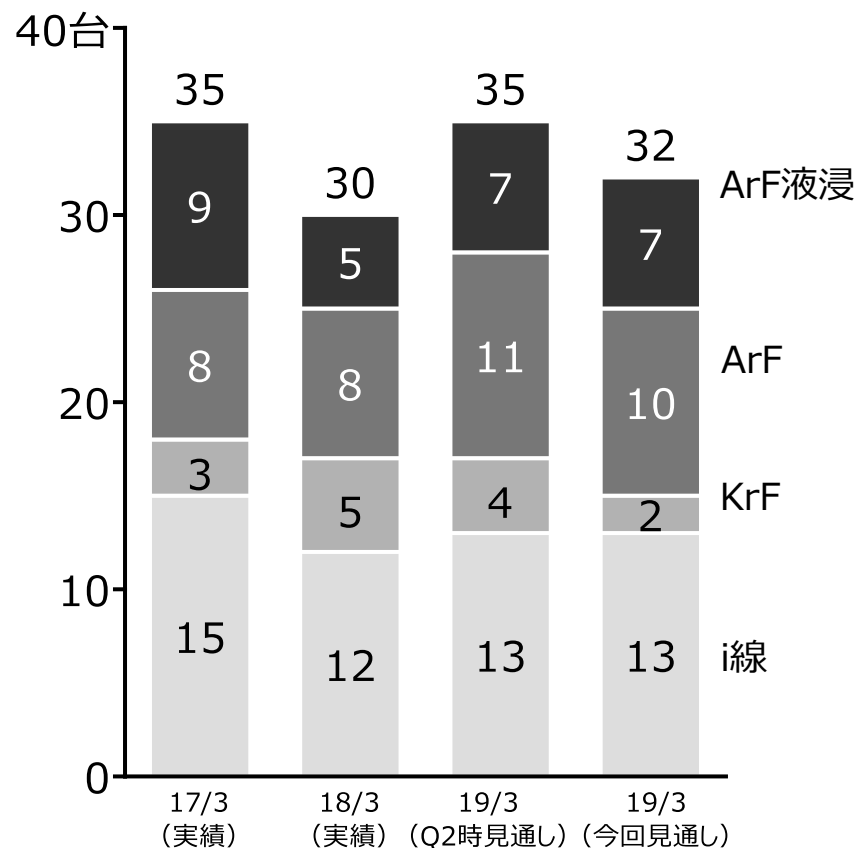
製品カテゴリー別販売台数



FPD露光装置世代別販売台数

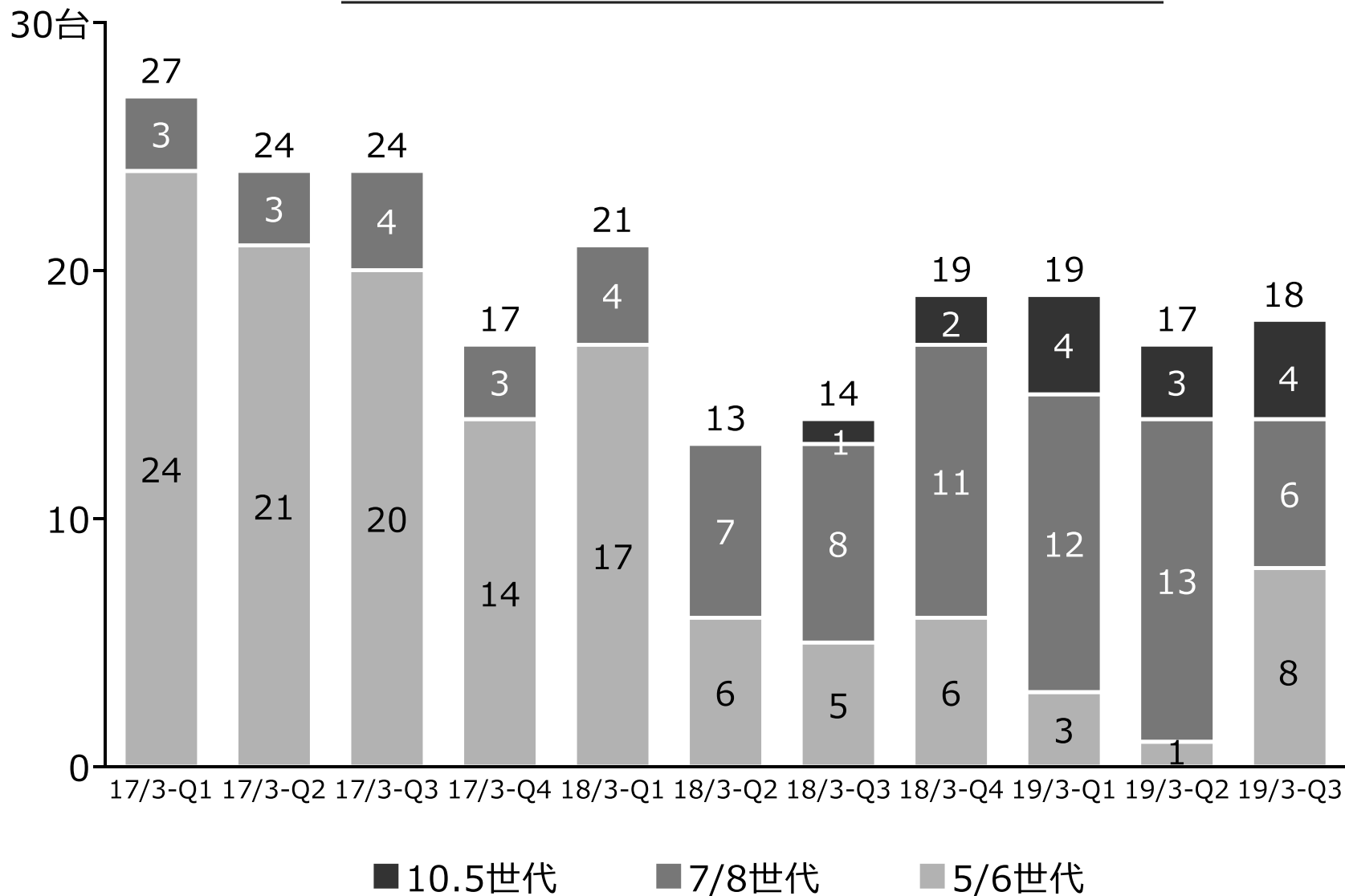


半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)

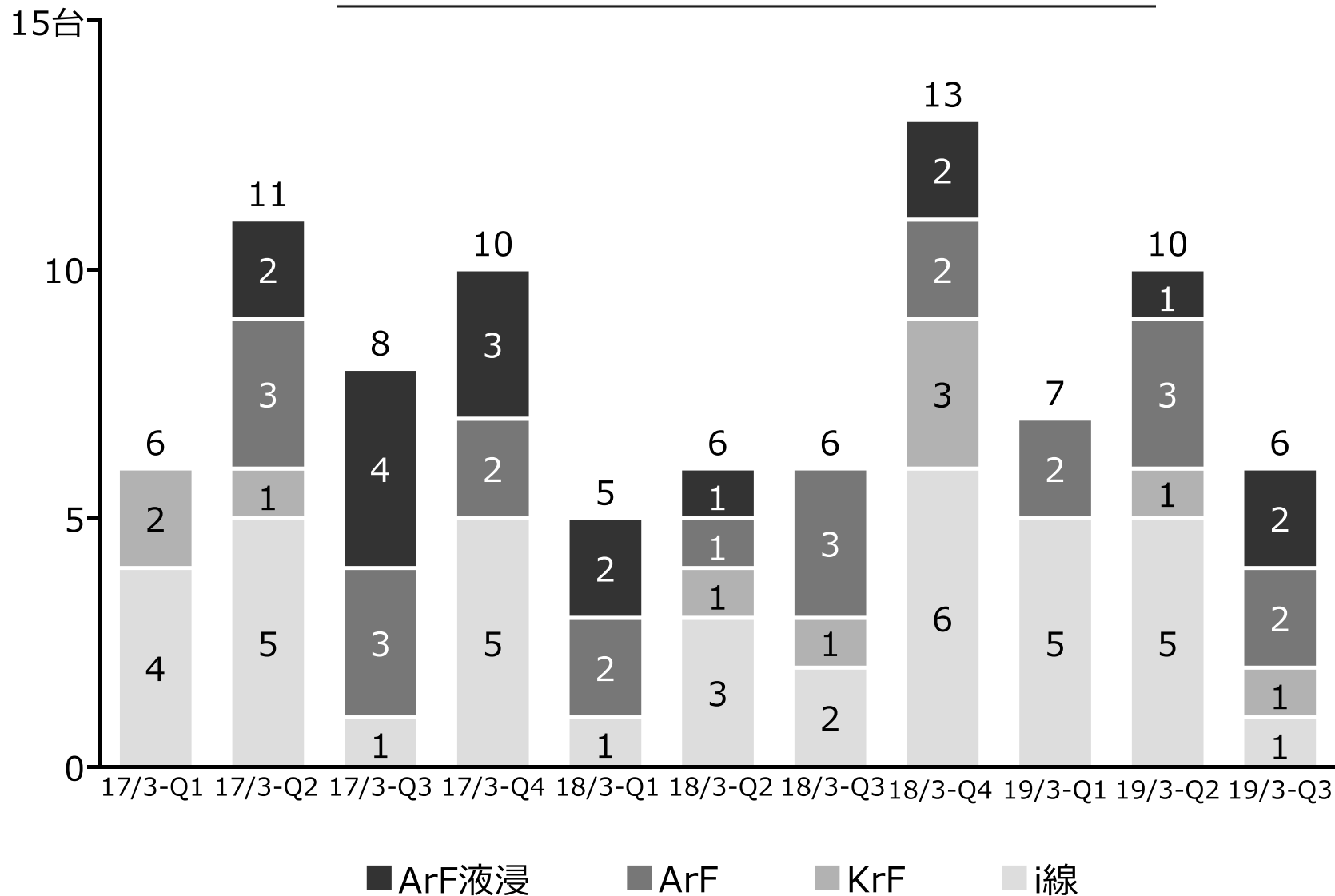


注：半導体露光装置の新品の台数は、2017年3月期は24台、2018年3月期は17台、2019年3月期（今回見通し）は21台

FPD露光装置世代別販売台数



半導体露光装置光源別販売台数（中古含む）



	為替レート	1円の変動による影響額	
	19年3月期 Q4前提	売上収益 Q4	営業利益 Q4
USドル	105円	約6億円	約0億円
ユーロ	125円	約2億円	約1億円



NIKON CORPORATION